



卒業証書授与式

3月1日、うらかな早春の日差しの中、晴れやかに本校創立以来96回目の令和4年度卒業証書授与式が挙行され、全日制230名、定時制14名、合わせて244名が本校を巣立ちました。

卒業生達は、臨時休校や分散登校、学校行事の中止・変更など、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける高校生活を送りました。困難な状況であったからこそ、人の痛みや優しさを敏感に感じ、創意工夫をしながら、力強く高校生活を送ってくれました。

卒業生ひとり一人が人生の次のステージで存分に力を発揮し、幸せな人生を歩み出してくれることを祈念しています。御支援・御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



インターンシップ

本校では、地元の企業様にお世話になり、2年生全員がインターンシップを実施しました。学校では味わえない、専門分野の実際的な知識・技術を体得するとともに、勤労観・職業観を育成することができました。御協力いただいた企業の皆様に感謝申し上げます。

生徒の感想 1

3日間鉄工の会社で実際に作業をさせていただきました。どの作業も最初はとても難しく感じましたが、社員の方が丁寧に教えてくださったので、だんだんやり方が分かってきて、そこからはかなり精度よく作業ができたと感じました。

中でも、ベルトサンダの作業は、最初は全然できませんでしたが、教わっているうちに上手にできるようになりました。

一方、板ベンダのプログラミングは非常に難解で、自分では理解できなくて少し悔しかったです。

体験した企業は、皆さん親切で良い職場でした。来年度の進路候補にも入ると思いました。

生徒の感想 2

1日目は自動販売機の組み立てで、重い道具を使ったり、長時間作業をしたりで疲れましたが、自動販売機の内部の機構や仕組みを知ることができ面白かったです。

2日目は自動販売機の動作検査をしました。ダミーの商品を入れるのが難しく時間がかかっていました。社員の方々の作業スピードが凄く早くてビックリしました。

3日目はインパクトドライバーで自動販売機を分解し、内部の部品を取り外す作業を行いました。

インターンシップを通して、仕事をするの大変さや、自分が製品を製造することに対する責任を学びました。



課題研究発表会

本校では、「課題研究」という授業で、全日制は3年生、定時制は4年生が、様々な学びを横断的に融合して、班ごとに作品製作や調査・研究・実験などを行い、専門的な知識と技術の深化や総合化を図り、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てています。今回は、今年度の代表的な研究をご紹介します。

機械科 3Dプリンタ

現代のものづくりに欠かせない、3Dプリンタを用いた製作技術を身に付けるため、自分達で作成した3次元データを用いて、3Dプリンタでロボットの部品を製作し、組み立てました。3Dモデルや3Dプリンタの技術を高めることが出来、完成度の高いロボットを作れました。



電子機械科 前工型メダルゲームの製作

前工祭に出展するメダルゲームを製作しました。メダルはレーザー加工機で、ホッパーは3Dプリンタで加工し、台座は前工の校舎をかたどって製作しました。今まで学んできた技術を生かして、良いものが出来上がりました。



電気科 電気自動車の製作

電気自動車の製作を通して高校3年間で学んだ金属加工、電気機器、電子制御などの知識を活かし、電気自動車(上)を製作して大会に出場しました。モータは自分達でコイルを巻いて(下)自作しました。とても勉強になりました。



電子科 ドットカービィゲーム

ブループリントというプログラム言語を用いてゲームのプログラミングを行い、コンピュータゲームを作成しました。登場するキャラクターはdotpictというアプリケーションでデザインし作成しました。背景、タイトル、キャラクターなど、すべて自分達のドット絵で構成したステージを完成できました。



建築科 エッフェル塔模型製作

3DCAD図面から模型製作図面を作成し、桧の角材を用いて1/250の模型を作製しました。角材の加工精度の差により、組み立ててみるとずれが生じてしまうなどの困難がありましたが、製作を通じて木材の曲げ方や特性を理解することができました。



土木科 大型橋模型「ダ・ヴィンチの橋」

固定具を一切使わず、主桁材の木材に、横桁となる単管パイプを工夫して組み合わせ、人が渡れる大型の橋を製作しました。強度、耐久性ともに十分で、人が渡れる芸術的な「ダ・ヴィンチの橋」が完成しました。



定時制機械科 実習器具の製作

ガス溶接実習に使用する吹管(トーチ)を整理、整頓し保管しておくための箱を作りました。5人の生徒が意見やアイデアを出して相談しながら設計、製作しました。ものづくりの楽しさや仲間と協力する大切さ、仕上げたときの充実感を感じました。



定時制建築科「雲の上のギャラリー」の製作

建築科は課題研究で4つのテーマに取り組みました。その中の一つが「隈研吾設計：雲の上ギャラリー」です。生徒一人一人が試行錯誤を繰り返しながら、真摯な態度で製作に励み、立派な作品を仕上げることができました。

